

水でくらしを支える
三重県企業庁



一緒にはたらく仲間を募集しています

水でくらしを支える 三重県企業庁

水は、人の命やくらし、地域の産業、そして未来を守る大切な資源。

安全で安心な水を、安定して供給することで、

みなさんが安心して暮らせる社会を支え、

地域の発展にも貢献しています。

みなさんの毎日のくらしや仕事にとって

欠かせない“水”を、安定して届ける。

そのあたりまえを、これからもずっと守り、つないでいきます。

企業庁の歩み

昭和31年 電気局設置 電気事業 開始

昭和36年 電気局を企業庁に改組

工業用水道事業 開始

昭和40年 水道用水供給事業 開始

昭和41年 有料道路事業 開始

昭和46年 土地開発事業 開始

昭和51年 有料道路事業 終了

平成元年 土地開発事業 終了

令和5年 電気事業 終了

企業庁では、 こんなことをしています。

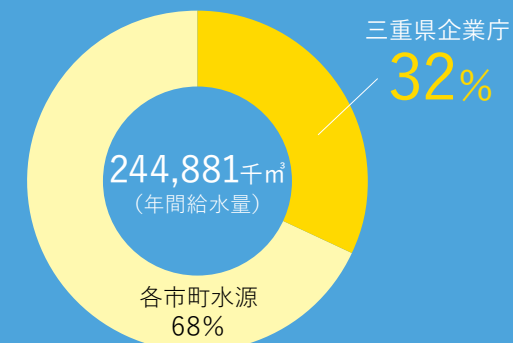
水道用水供給事業

——いつでも使える、あたりまえの水道水。その“元”を支えています。——

水道用水供給事業は、市町に対して、安全な水を安定的に届ける仕事です。

みなさんの生活に欠かせない水道水は、お住まいの市町がお届けしていますが、独自の水源だけでは不足する市町もあります。みなさんがいつでも安心して使えるように、このような市町に水道水の卸売りをを行い、市町を通じて、みなさんのご家庭へ安全で安心な水道水をお届けしています。

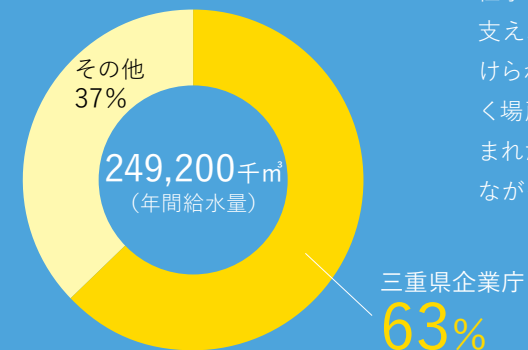
県内水道の給水量に
三重県企業庁の水が占める割合
(令和5年度実績)



工業用水道事業

—— 工場でモノを作るときにも、“水”は欠かせないのです。——

県内工業用水の使用量に
三重県企業庁の水が占める割合
(令和4年実績)



工業用水道事業は、工場へモノづくりに使うための水を安定して届ける仕事です。地元の産業や経済活動を支え、企業が安心して生産活動を続けられるようにすることで、地域の働く場所が増えたり、新しい産業が生まれたり、地域の未来づくりにもつながっています。

職種紹介

企業庁では、さまざまな職種の職員が、それぞれの専門知識を活かして業務に取り組んでいます。その中でも多数を占める土木職員、電気職員についてご紹介します。

土木職員

平成26年度採用

Interview

子育てと仕事を両立しながら、自分らしく働く

「暮らしを支える」実務の面白さ

福利厚生充実や安定した働き方に魅力を感じ、公務員試験を受験。配属の連絡で「企業庁」と聞いたときは、「どんな仕事をするんだろう」と少し不安もありました。いざ初日、ヘルメットをかぶって現場へ。バルブを操作したり、マンホールの中に入ったりと、予想外の実務にびっくり。けれど、体を動かすのが好きな自分にはぴったりで、「まさか自分がマンホールに入るとは！」とワクワクしたのを今でも覚えています。

子育てしながら働けるチーム体制

結婚・出産を経て4年間の育休を取得し、職場復帰。現在は本庁で主に「事業再評価」に関する資料作成を担当しています。小さな子どもがいるため、急な発熱や呼び出して

休むこともありますが、日常的にチームで業務分担や情報共有を行っており、同僚が自然にフォローしてくれる体制が整っています。そうした柔軟な環境があるからこそ、安心して仕事に向き合えています。

「水のある暮らし」を守りながら、母としても一歩ずつ

今は4歳と2歳の子どもを育てながら、9:30～16:15の時短勤務を選択。残業ができない分、スケジュール管理と集中力がカギです。休日は家族でショッピングモールや近場の遊び場へ出かけ、ときには一人で映画や温泉でリフレッシュ。焦らず、無理せず、自分のペースで。生活に直結する「水」を支える責任と、子どもとの日常——どちらも大切にできる毎日を送っています。

タイムスケジュール(一例)

- 8:30 子どもを送る
- 9:30 出勤(メールチェック・予定確認など)
- 10:00 資料作成などのデスクワーク
- 12:00 昼休憩(お弁当を食べた後、近くのジムで筋トレ)
- 13:00 打ち合わせ・会議など(※日によって異なる)
- 15:00 会議資料の作成・業務整理
- 16:15 退勤 子どもの迎え



子どもの急な体調不良などにも柔軟に対応できる体制が整っています。



Interview

専門外から飛び込んだ、暮らしを支える仕事

知識がほとんどゼロからスタート

「地元三重県のライフラインに関わる仕事がしたい」という思いから、電気職へ。大学では物理工学を専攻しており、電気のことは専門外でしたが、機械の改良工事や設備の取り替え工事の現場監督を担当しました。最初は電気の知識もほとんどなく、初めて聞く言葉ばかり。不安もありましたが、現場で経験を積みながら一つひとつ覚えていきました。

働きながら資格も取得

仕事の幅を広げたいと思い、働きながら「電気主任技術者(第3種)」の資格取得にも挑戦。企業庁は、研修制度や外部講習の費用補助があり、仕事をしながら学べるありがたい環境です。

オフも大切にできる環境

企業庁の魅力は、制度がしっかり整っているところ。産休・育休、住居手当、通勤手当、時間単位の有休、リモートワークなど、柔軟な働き方ができます。土日祝はしっかり休めるので、休日は映画や旅行などで気分転換。職場にはテニスの集まりや、昼食を一緒に楽しむ交流もあり、オンオフともに充実しています。

次は、自分が誰かを支える番

これまで、たくさんの先輩や上司に助けられてきました。だからこそ、今度は自分が「支える側」に。現場で培った経験を活かして、チームや後輩を支えられる存在になれるよう、これからも学び続けていきたいです。

タイムスケジュール(一例)

- 8:30 出勤(メールチェック・予定確認など)
- 9:00 時期によって変わる業務内容*
- 12:00 昼休憩
- 13:00 時期によって変わる業務内容*
- 17:00 業務整理
- 17:15 退勤

年間の仕事内容*

- 4～8月 設計書作成などのデスクワーク
- 9～3月 現場対応や立ち会い、工事書類確認



電気職員

平成31年度採用



入ってわかった！ 企業庁 リアルボイス

企業庁で実際に働く先輩職員に、入庁後に感じた“ギャップ”について聞いてみました。「思っていたより自由！」「もっとお堅い職場かと思ってた！」など、リアルな声がたくさん。あなたの中の“企業庁イメージ”が変わるかも？

意外と体を動かす仕事が多い。

電気職



若手が発言しやすい環境が整っていて先輩職員の方もすごく優しくフラットに接してくれる。

土木職



髪の色や休みを取ることにの自由度高い。

土木職



「助け合っていこう」という姿勢が強く、困っていそうなときは声をかけてもらえて心強かった。

化学職

「県職員」というとお堅いイメージだったが、気さくで楽しい人が多く、職場の雰囲気柔らかかった。

土木職



新採時から1年間トレーナーがつき、仕事の不安や進捗等について、随時アドバイスをいただけるため、不安がなかった。

事務職



仕事一本というわけではなく、趣味なども楽しみながら、メリハリをもって仕事をする人が多い。

事務職



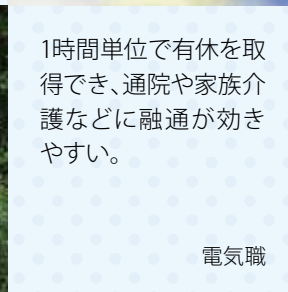
前例踏襲ではなく新たな提案を通していくような、新規性のある業務も思っていたよりも多い。

事務職



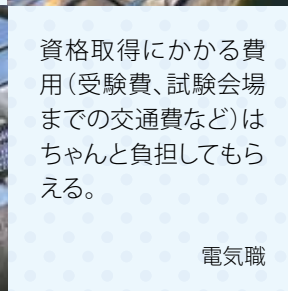
1時間単位で有休を取得でき、通院や家族介護などに融通が効きやすい。

電気職



資格取得にかかる費用(受験費、試験会場までの交通費など)はちゃんと負担してもらえる。

電気職



毎日スーツにネクタイを覚悟していたが、平時はカジュアルな服装で通勤できる所属も多い。

電気職



残業が多いと思っていたが、自分自身は今のところ多くないこと。

土木職



思っていたより、自分のペースで仕事を進めることができ、また、達成感が高い！

電気職



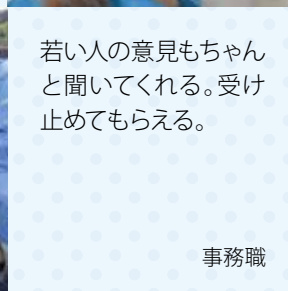
もっと堅苦しい雰囲気だと思っていた。いい意味で気を張らなくていい。

事務職



若い人の意見もちちゃんと聞いてくれる。受け止めてもらえる。

事務職



勤務時間

月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分

休日

完全週休2日制
土・日曜日、祝日、
年末年始

年次有給休暇

※1時間単位で取得可能

採用1年目
年間15日
※4月採用の場合
2年目以降
年間20日

初任給

A試験(大学卒)
約239,000円

C試験(高校卒)
約204,300円

※令和7年4月時点
※初任給＝給料＋地域手当

安心して働ける。
ずっと
続けられる。

勤務条件・学び支援

諸手当

それぞれの
支給要件に応じ、
扶養手当、住居手当、通勤手当、
時間外勤務手当等が
支給されます。

企業庁の年休等の実績

時間外勤務
平均11時間／月
有給休暇取得日数
平均17.3日／年

資格助成

電気主任技術者
(第2種、第3種等)について、
免許取得に関する
助成金を支給します。

研修

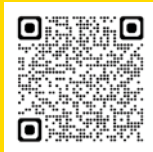
職員自身の「学びたい」を
大切にするため、
企業庁では多くの充実した研修を
実施しています。
(以下は一例)
・電気保安教育講習
・水道設備点検基礎技術研修

MIE PREFECTURE PUBLIC UTILITIES AGENCY

企業庁に関する情報



HP

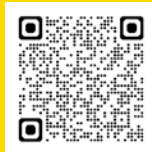


INSTAGRAM

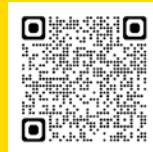


YOUTUBE

採用に関する情報



人事委員会 X



人事委員会 HP

三重県企業庁

企業総務課 人材マネジメント班

〒514-0004 津市栄町1丁目891

三重県勤労者福祉会館3階

TEL.059-224-2822 FAX.059-224-3045

個別相談・職場見学 随時受付中

詳しくは左記までお問い合わせください